



白夜の北極海を音もなく走るカヤックは、
先住民イヌイット文化を象徴する道具。
その舟でカナダを旅した経験と、
越前和紙の美しさと強さが融合し、
和紙の舟が生まれた。

WASHI-bune

Tomoaki ISHIGAMI Art Exhibition



越前和紙の里 卯立の工芸館

2025年10月24日(金)～11月26日(水)
9:30～17:00

(入館は16:30まで・最終日は15:00まで)

休館日 火曜日

大人 300円 / 団体 (15名以上) 200円

※ 高校生以下無料・障がい者手帳をお持ちの方は半額

※ 紙の文化博物館との共通入館料



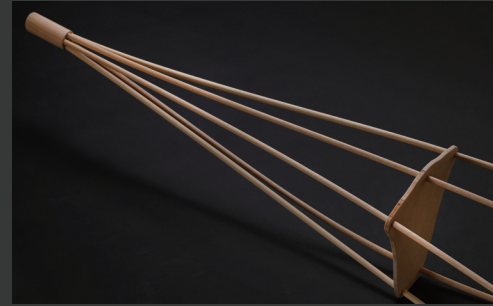
和紙で創る

WASHI - bune

極北で生まれた舟



「スキン」と呼ばれる船体布には、手漉きでつくられた越前和紙を使用。透明感を表現すべく紙厚は 0.5 mm とした。



釘などの金具や接着剤を一切使用せず、木組みだけで設計されたフレーム。



パドルも和紙と木だけでつくられる。和紙の接着は伝統技法である蒟蒻糊を使用。



この作品は分解と組み立てが可能である。これは可搬性と修繕性に優れるカヤックの構造を踏襲して可能となった本作の特徴だ。



石上 智章
写真家／アーティスト
Tomoaki ISHIGAMI
Photographer / Artist

大阪出身、神奈川在住。
自動車雑誌を中心に活動。
自然をモチーフとしつつ、
「写真から立体へ」を
テーマに作品を制作する。



越前和紙の里 卯立の工芸館
福井県越前市新在家町 9-21-2 Tel.0778-43-7800